

Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの
真実を伝える

2016 春号
アスポとやま
¥0 Takefree

VOL.5 富山初のスポーツマガジン



挑戦し続ける心

スピードスケート

田畑真紀

未来のアスリート発掘事業

2020東京五輪で輝け!

特別寄稿・泉敏郎

錦織圭を誕生させたIMGとは

ハンドボール

大森聡プレステージ新監督に聞く

ほおばる
幸せ。



ほおばる幸せ。

富山米



Truth

【トゥルース】
VOL.5 富山のスポーツの真実を伝える
春号

ホームページもご覧ください!!

MAKI TABATA

Athlete of the future

Toshiro Izumi
Satoshi Ohmori

TOYAMA
SPORTS
THREE TEAM

TOYAMA
SPORTS
MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

- 02 スケート界のレジェンド
田畑真紀
鍛え抜かれた心・技・体
- 04 未来のアスリート発掘事業
11年間の歩みを振り返る
2020東京五輪で輝け!!
- 06 特別寄稿・泉敏郎
錦織圭を誕生させたIMGとは
- 07 ハンドボール
大森聡プレステージ新監督に聞く
- 富山のプロチーム3球団のリアル情報
- 08 野球
富山GRNサンダーバース
2016シーズン飛躍期す
地元出身の左腕・竹林和範／選手の色紙プレゼント
- 10 サッカー
カターレ富山
攻撃的バスサッカーで勝負
J3展望／案内板
- 12 バスケットボール
富山グラウジーズ
始まりと終わりを知る男
呉屋貴教「倒れるまで走りたい」
- 14 **富山のスポーツ伝言板**
フィジカルトレーナー宮原さんの指導とは?
※皆様からの耳寄り情報お待ちしております!

(表紙写真は田畑選手と未来のアスリート10期生の皆さんら)

お得で便利なETCカード!!
お申し込みは当組合まで

(協)富山県ハイウェイサービスセンター

理事長 朝日 重剛

〒930-0083 富山県富山市総曲輪2-1-3

TEL (076)493-6717 FAX(076)493-6718

富山県内のファミリーマートで 「Truth」を配布いただいています!

この夏は、こだわりファミマの挽きたてコーヒーで至福のひと時を!!



あなたと、コンビニに、
FamilyMart

ファミリーマート 検索

問合せ先／ファミリーマート富山営業所 Tel.076-422-9575

アイスコーヒー㊤サイズ
1杯100円(税込)で好評販売中!!

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです。

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、ボンジュールSAKATA高岡店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャック ラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、(有)栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理(マリーマリー)、Trattoria La Luce (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

〒932-0817 小矢部市小神204-3 代表:松井 克仁

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

ホームページ:http://tspotoyama.com/ Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

富山発のスポーツメディア

Truth



スケート界のレジェンド スピード・田畑真紀

小学1年生の時に得たメダルと 五輪のメダル、その重みに 変わりはないのかもしれませんが

スピードスケートの田畑真紀選手は冬季五輪に5度も出場し、自転車競技でロンドン五輪出場を狙ったことも。41歳で現役バリバリ。「スケート界のレジェンド」だ。鍛え抜かれた心・技・体は、なぜそんなに強いのか？メダリストを夢見る「富山の未来のアスリート」約60人を前に、今も前進を続ける競技人生について聞いてみた。

聞き手 土田由香里
interviewer Yukari Tsuchida
文 若林朋子
text by Tomoko Wakabayashi
写真 金森正晃
photo by Masaaki Kanamori

■上級生を見て「あなりたい」
——田畑選手の競技人生についてお聞かせください。
北海道で冬のスポーツといえば、スキーかスケート。故郷のむかわ町は雪が少なく、スケートが盛んです。全校35人しかない学校で、全員がやっていました。始めたのは、小学1年生です。上級生がすごいスピードで滑っているのを見て、「あなりたい」と思いました。降雪の前、保護者や先生の方が学校のグラウンドでリンクの形に土を盛り、降雪後には雪を踏み固め、水を撒いて、リンクをつくってくれるのです。今は温暖化で12月ごろでなければ滑ることはできませんが、昔はもつと早い時期から滑走可能でした。皆それぞれ、スケート靴を持っていましたよ。すぐ足が大きくなるので、大きめの靴を買って、つま先に綿を詰めて滑っていました。



——スピードスケートの競技者を目指していいと思ったのは、いつだったのでしょうか。
小学校1年で町の大会に初めて出て、金メダルももらいました。それがすごくうれしくて、「毎年メダルがほしい」と思いました。そして、どんな大きな大会に出ていくようになりました。高学年の時は6人ほどライバルがいて、なかなか勝てなかった。応援に来てくれた両親はいつも、「精一杯やったら、いいじゃない」「次に頑張ればいい」と言ってくれました。最後の二つ前の大会でやっと優勝ができ、最後の大会も勝ったので中学でもスケートを続けようと思いました。

また、大先輩の橋本聖子さん（アルペールビル五輪銅メダリスト、現参議議員）が隣の早来町出身でした。活躍をテレビで見ても、「スピードスケートなら

の世界選手権を目標にすればいい」と言われ、吹っ切れました。「そこに間に合わせよう」と。
リハビリ室に入り浸り、コルセット巻いたまま自転車に乗り、思いっく限りのトレーニングをしました。しかし、やつていくうちに（世界選手権出場は）難しいことが分かり、「難しいです」というと、「では、カルガリーで行われるフアイナル大会に出よう」と言われ、頑張りました。監督が常に目標を作ってくれたことがありがたかったです。五輪も終わってしまえば過去の話。「次は自分が」と思えました。

■座右の銘は「継続は力なり」

——ソルトレイクシティー五輪以降は4大会連続で出場し、バンクーバー五輪ではチームパシュートで銀メダル。日本中を感動させてくださいました。

五輪でメダルを獲得することは、ものすごく難しいと思っていました。まさか自分が獲れるとは！夢のようでした。世界選手権やワールドカップで連続優勝していても、五輪では重圧からメダルが獲れない選手を何人も見て来ました。五輪は特別な舞台なのです。チームパシュートは3人が心をつにし、息を合わせなければいけません。銀メダルを獲った時には、選手だけでなく、スタッフや日本チーム全体が心ひとつになつていました。金メダルまで0・02秒差。紙一重で悔しかったですが、上出来でした。

モチベーションが上がる言葉って皆さんありますよね。私、「メダルが欲しい」と思うと、テンションが上がるのです。小学1年生の時に得たメダルの威力がそのまま、私の中にある。人生で初めてもらったメダルと、五輪のメダル、その重みに変わりはないのかもしれない。また、五輪がすべてではないでしょう。五輪を目指した人の心には、それぞれの五輪があるはずです。こういう気持ちで取り組んだかという過程が大切ですね。

座右の銘は、「継続は力なり」。続けることで力になる。ゴールまでは遠いですが、ある時、積み上げてきたもののおかげで、飛び越えてきてしまうことがあります。バーンと結果が出る瞬間があるので。行動も、気持ちも、継続するしかない。続ける強さが大事なのです。



五輪に行けるかも」と思ったのです。今、甥っ子や姪っ子3人も自然に「五輪に行くよ」と言います。五輪に応援に来てくれたことがあるからでしょう。近い存在に五輪選手がいれば、「自分も行ける！」と思えるものです。

■やめたいと思ったことはない

——スピードスケートの魅力は？心掛けていますか？

自分の力を使ってスピードを出し、タイムを競うこと。そして、自分のやってきたことが、試合で出せていい成績が残せた時の達成感ですね。スケートに限らず、何でもそうでしょう。

目標があれば、「モチベーションを維持しなければ」と考える必要はないものです。きつい練習を乗り越えられなかったら、それは自分のせい。地道にやるしかないのです。やめたいと思ったこともありません。だから41歳まで頑張れたのです。やればやるほど、どんなスケートを好きになり、楽しんでます。

目標を明確にするのが一番大事。優勝するには、どれくらいのタイムを出せばいいのか？どういう体を作っていくのか？足りないところは、自分が一番分かっている。コーチに言われてやっているだけではいけません。

——1998年の長野五輪は左足の骨折により、出場できませんでした。当時の心境を聞かせていただけますか？

病院で骨折の診断を聞いて涙が出て、ホテルに戻ると、当時の監督が「どうした？」と聞きました。「目標がなくなっちゃたんです」というと、「全治3か月なら五輪には間に合わないだろう。しかし、次の週

MAKI TABATA Speed skating

たばた・まき 1974年11月9日生まれ、北海道むかわ町出身。駒大苫小牧高（北海道）から実業団の富士急を経てダイチ入りし、2016年3月末まで所属。冬季五輪はリレハンメル、ソルトレイクシティー、トリノ、バンクーバー、ソチ大会に出場。バンクーバー五輪でチームパシュート銀メダル。3000メートルの日本記録保持者。全日本選手権では総合優勝8回。2016年団体は1500、3000メートルとも富山から出場し、優勝。自転車競技にも挑戦している。



Athlete of the future

文・写真 若林朋子
text&photo by Tomoko Wakabayashi

2020東京五輪で輝け！！ 「未来のアスリート発掘事業」逸材キラリ☆

「未来のアスリート」に認定された児童は、年間16回にわたって行われる育成プログラムを受講する。その内容は主に次の通りだ。

▽身体能力育成プログラム

・コーディネーショントレーニング…周りの状況変化や自分の身体の変化を察知・判断し、全身をうまくコントロールする能力や、筋力・持久力をむだなく使いながら、相手の変化や環境の変化に対応できる能力を高めるトレーニングを学ぶ。

・コンディショニング…運動前のウォーミングアップやトレーニングの質と量の調整、休憩など、よりよい状態で競技に臨むにはどうすればよいかを学ぶ。

▽知的能力育成プログラム

・メンタルトレーニング…試合で実力を発揮できるようにする心理的な働きを高めるトレーニングについて学ぶ。

年間16回の育成プログラム

「未来のアスリート」に認定された児童は、年間16回にわたって行われる育成プログラムを受講する。その内容は主に次の通りだ。

▽身体能力育成プログラム

・コーディネーショントレーニング…周りの状況変化や自分の身体の変化を察知・判断し、全身をうまくコントロールする能力や、筋力・持久力をむだなく使いながら、相手の変化や環境の変化に対応できる能力を高めるトレーニングを学ぶ。

・コンディショニング…運動前のウォーミングアップやトレーニングの質と量の調整、休憩など、よりよい状態で競技に臨むにはどうすればよいかを学ぶ。

▽知的能力育成プログラム

・メンタルトレーニング…試合で実力を発揮できるようにする心理的な働きを高めるトレーニングについて学ぶ。

11年間で662人を認定

「未来のアスリート発掘事業」の対象者は「富山県内在住の小学5年生男女」である。毎年秋に県内の小学校や競技団体にパンフレットを配布して公募し、希望者は1次選考として競技歴や身長・体重・スポーツテストの記録などの数値と、自己PRなどを記した申込書の提出が求められる。また、すでに全国大会で優秀な成績を残していたり、各競技の強化担当者が能力を認めていたりする児童は、競技団体の推薦があれば1次選考が免除される。

2020
Olympic

富山県体育協会の「未来のアスリート発掘事業」をご存じだろうか？
スポーツの能力に優れた児童を小学5年生の段階で見出し、身体能力と知的能力の育成をサポートしようというものだ。
同事業は、2005年度にスタートし、15年度までに662人が認定を受けた。中には、高校日本一に輝いたり、日本代表に選ばれたりした選手もいる。
「スポーツ富山」の未来を担う同事業について、その意義に理解を深めてみたい。



「未来のアスリート」に認定された児童は、年間16回にわたって行われる育成プログラムを受講する。その内容は主に次の通りだ。

▽身体能力育成プログラム

・コーディネーショントレーニング…周りの状況変化や自分の身体の変化を察知・判断し、全身をうまくコントロールする能力や、筋力・持久力をむだなく使いながら、相手の変化や環境の変化に対応できる能力を高めるトレーニングを学ぶ。

・コンディショニング…運動前のウォーミングアップやトレーニングの質と量の調整、休憩など、よりよい状態で競技に臨むにはどうすればよいかを学ぶ。

▽知的能力育成プログラム

・メンタルトレーニング…試合で実力を発揮できるようにする心理的な働きを高めるトレーニングについて学ぶ。

競技団体や学校との連携を

富山県体育協会は、すでに高校を卒業した年齢となった1、2、3期生にアンケート調査を実施し、158人中、128人から回答を得た（2016年3月末現在）。進路については、約3割が「将来、トップアスリートか指導者になりたい」と回答している。このことから、同事業がスポーツに取り組みむ児童・生徒の進路選択に好影響を与え、指導者育成の一助ともなっているといえよう。体育や教育に関わる学部に進学している大学生は少なくなかった。

「あえて課題を挙げるとすれば？」と富山県体育協会事務局に聞いてみると、「指導者不在の中学に進学している子や、身近な学校に指導者がいないため、高校進学時に県外の高校へ行く子もいる。今後は競技団体や学校と密に連携を取り、継続した指導が可能になるよう努めたい」とのこと。今後は、「アスリートの卵が成長し、羽ばたくまでを、確実に見守っていくことが大切なのである。」

日本代表選手や「日本一」に

同事業はどのような成果を上げているのか？ 今、日本を代表するアスリートとなって活躍している選手には、ハンドボール女子の佐々木春乃（1期生、高岡向陵高OG、大阪体育大）、バスケットボール男子の馬場雄大（2期生、富山二高OB、筑波大）などがある。ほかにも各年代の日本代表に選ばれ、主力として活躍している選手がおり、東京五輪が行われる2020年には、多くがフル代表の中心選手となっているだろう。このほか、全国高校総体や全国中学大会、国体などのひのき舞台で勝ち上がり、日本一となったり、好記録をマークしたりしている選手も続々と現れている。

2020年東京五輪でメダルを！

11年間にわたって審査を担当してきました。佐々木春乃選手や、馬場雄大選手は大柄で動きが良かったので、やはり目を引きましたね。一方、小柄ながら優秀な選手もいます。初期の段階では見逃してしまった選手もいた反省から、「競技団体推薦」という制度を導入しました。

10代前半では選手によって発育のペースが違い、神経、心肺機能、骨格、筋肉は異なるタイミングで成長していきます。専門的な知識を踏まえてのトレーニングが必要です。また、競技ことの専門的な技術は早い段階で習得する必要があります。育成プログラムは、これらの知識を学び、子どもや保護者がスポーツに取り組み高い意識を身に付ける機会となっています。

認定を受けた選手の中から、2020年東京五輪でメダルを獲得するアスリートが誕生することを願っています。

1994年の富山インターハイ、2000年とやま国体では、富山県勢の育成・強化に携わってきました。「未来のアスリート発掘事業」では測定会で審査員の1人として、逸材の発見に努めています。



未来のアスリート発掘事業企画委員長
高森 勇氏



傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険 でも、もしもの怪我に心強いスポーツ安全保険

スポーツ安全保険

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故
平成28年度 保険期間 平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成28年3月から)

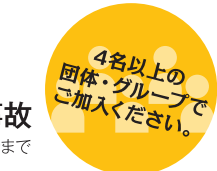
公益財団法人 スポーツ安全協会 富山県支部 (公財) 富山県体育協会内
〒939-8252 富山市秋ヶ島183番地 富山県総合体育センター内 TEL 076-429-1230

保険の詳細な内容、資料の請求は、<http://www.sportsanzen.org>
●資料請求は、インターネットより受付けております。

補償期間：平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで。ただし、平成28年4月1日以降の加入手続きの場合の補償開始期は、加入手続きを行った翌日0時からとなり終期は平成29年3月31日午後12時までです。

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全協会の保険）に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会賠償責任保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯普通傷害保険賠償責任担保特約（学校管理下外担保））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書により、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

<引受幹事保険会社>
東京海上日動火災保険株式会社（担当課） 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133（平日9:00～17:00）
<共同引受保険会社（平成27年4月予定）>
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災
東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上
平成26年12月作成 14-T-09668





勝つ チームづくりを 目指す

文 松井 克仁
text by Katsuhito Matsui

写真 TOM
photo by TOM

プレステージ・インターナショナル 女子ハンドボールチーム大森聡監督

4月1日、プレステージ・インターナショナル女子ハンドボールチームの監督就任が発表された。
大森聡、48歳。高岡向陵高校女子ハンドボール部を率いて24年、全国選抜大会優勝1回、インターハイ準優勝2回を誇る強豪校へと育て上げた。目指したのは、「番普通で強いチーム」。勝つことよりも、基本プレーの質を高めることで、次のステージで活躍できる選手を育てたいとの思いで指導してきた。その原点にあるのは、2000年とやま国体に向けた韓国遠征で見た韓国のシブルで強いハンドボール。ひとつひとつのプレーが正確でミスが少ない。それを徹底することで、チームが強くなりはじめ、高校の頂点にまで登りつめた。

大森は、おとしし11月から1年間、ハンドボール女子日本代表のコーチに招聘され、世界レベルを肌で感じ、刺激を受けた。指導者として、レベルの高いところで、さらに研鑽を積みたい。そんな思いもあつて、プレステージからの監督就任要請に応じるのに時間はかからなかった。次は、日本を

代表してオリンピックにいく選手を育ててみたい。大森は、2020年ではなく、あえて、2024年のオリンピックを見据える。
韓国を倒して五輪へ
去年、日本代表は、リオ五輪アジア予選で韓国に敗れ、40年ぶりとなるオリンピックへの出場権を獲得できなかった。メンバーには、大森の教え子である横嶋かおる、彩の姉妹もいた。韓国との対戦成績はこれで、7勝47敗2分け。韓国を倒さずして、五輪への道はない。大森が、開催国として出場が見込める2020年ではなく、2024年のオリンピックを見据えるのはそのためだ。プレステージには、高岡向陵高校出身者を中心に9人が集まった。大森の教え子でキャプテンの横嶋遥（22）は、「日本代表のコーチをつとめた先生が、どんな指導をしてくれるのか楽しみ」と話す。

チームの当面の目標は、来年からの日本リーグ参戦。求められるのは選手を育てることではなく、勝つことになる。今年一年は土台作り、まずは地域に根ざし、小さな選手たちがあこがれるチームになることが大事と話す大森監督。新たなステージで「韓国に勝てる選手を日本代表に輩出する」という新たな目標に挑む。

<入団選手>

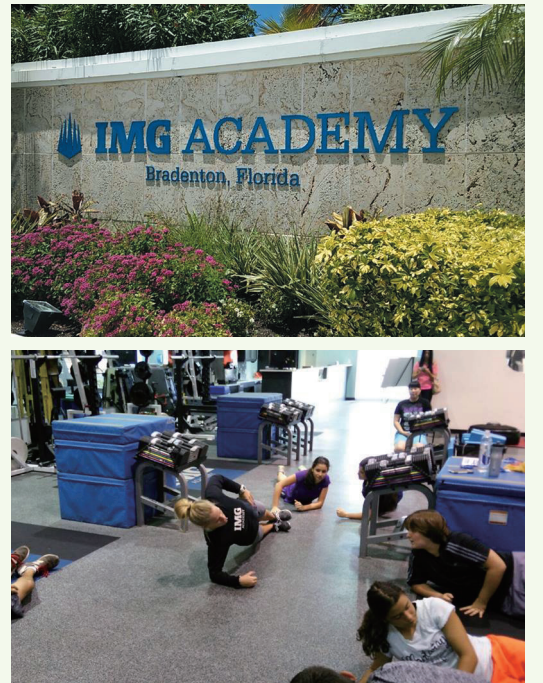
島田 奈緒（18）高岡向陵高
唐木澤 慎央（19）高岡向陵高
水野 元子（19）高岡向陵高
横嶋 遥（22）高岡向陵高～大阪体育大
兒玉 菜夏（22）高岡向陵高～早稲田大
小林 瑤子（22）静岡城北高～桐蔭横浜大
牛山 悠衣（22）高岡向陵高～国士舘大
石田 光（27）高岡向陵高～大阪教育大
立野 未央（29）桜花学園高～武庫川女子大



4月1日に行われた入団会見



IMGアカデミー創立者ニック氏と（左が泉さん）



特別寄稿・泉 敏郎

「錦織圭を誕生させたIMGとは ～富山から世界を目指す～」

泉敏郎（いずみ・としろう）
50歳。富山市在住。国立富山高等専門学校などで講師をつとめる。
富山県水泳連盟競泳委員長
日本スイミングクラブ協会安全水泳委員長
富山県競泳国体チーム監督（2000年～）

アメリカ・フロリダの心地よい風。壮大な景色に圧倒される。テニス界のスーパースター錦織圭選手を誕生させたIMGアカデミー。まさに世界のスポーツ界をリードするアメリカが独自でプログラムしたスポーツエリート養成学校である。世界中から明日の世界トップアスリートを目指し、テニス、サッカー、野球、バスケットボール、陸上等のアスリートたちが二週ににじ、長期留学、短期留学を通じ、自らの競技力向上を図る。まさにエリート集団を育成する世界最大のアカデミー。キャンパスの広さは東京ドームの50倍。アメリカらしい環境である。

文武両道の言葉がもっとも似合うIMG。個々の専門種目のトレーニングと現地講師による英会話レッスン。さらには動体視力を鍛えるビジョントレーニングや栄養プログラム。食事は三食フリーワード。フリースリートを受けることが可能。キャンパス内に学生寮を有し、六畳ほどの部屋に異国のアスリートたちが英語を使い会話する。いかに英語が世界共通語であるか実感できる瞬間である。

入学可能な年齢は12歳以上。日本の教育課程では小学6年生か中学1年生であり、英語を習い始める時期でもあり、二つの会話が各々のスパイスとなり、まさに実践を通じた英語の授業。もちろん、日本語なんて全く通用しない。不思議なものでアスリートたちは、すぐに異国のアスリートと友達になり、英語を通じ、会話を楽しむ。全ての会話が理解できないなかで、ジェスチャーや顔の表情で懸命にコミュニケーションを図る。

参加しなければ理解できない、「国際感覚を養う、素晴らしい学習環境」と言える。去年6月に現地を視察し、何としても日本の、富山のアスリートに参加させ、この活きたアカデミーを体感させたい気持ちで二杯となった。自分たちの中学時代に、このような企画があれば、どれだけ人生の世界観が変わったことだろうと後悔の念。まずは全国のスイマーたちへこの感動を伝えたく、イベントを企画してみた。



去年の夏、初企画のスイムキャンプが、IMGアカデミーとのコラボで、8月2日から9日までの日程で行われた。成田空港より、参加者はIMGアカデミーまで引率し、キャンプはスタートした。参加者は、IMGの学生寮に宿泊し、ジュニアタイニングで朝昼晩の食事をする。広大なキャンパスでの学生生活は、日本では得られないとても貴重な体験となっただろう。トレーニングは、午前にIMGの心臓部とも言われている「Athletic Personal

Development（APD）」と呼ばれるキャンプに参加。体幹トレーニングや俊敏性を養うトレーニングを行った。
午後は、これからの時代に不可欠な英語力を付けるために、IMGの英語クラス（ESL）を受講。海外で活躍していくために必要なスキルを徹底指導する。授業が終わるとバスに乗り、市内のスイミング施設に移動。このスイムキャンプでは地元のスイムチーム、サラソタシャークスよりコーチを招きアメリカ独自の指導を導入し、参加者は日米の文化の違いを水泳からも学んだ。

キャンプ最終日は50mの記録を計り、1週間の成果をチェックすると、参加者全員、自己ベスト更新するなど目に見える形で効果が表れた。

今年の登板回数を超え 失点をなくし、防御率1点台を そしてNPBへ！

KAZUNORI TAKEBAYASHI

●悔しさが成長の糧

2015シーズンは42試合に登板し、1勝3敗3セーブ。「もう少し投げることができたかもしれない」竹林は、そう話した。2年連続で地区チャンピオンシップ敗退という悔しいシーズンが終わり、オフは自身を見直す時間を設けた。シーズン中には、試合が続くハードなスケジュールだったため、ウエイトトレーニングに時間をかけることができなかったからだ。

体の弱い部分をチカラし、鍛えるための第一歩として滋賀県へトレーニングに出向いた。球速を上げることも狙いであり、太ももは昨年履いたスポンがパンパンになるくらい太くなった。体の強さとともに、自信も得たように感じる。

●青山氏との出会いが竹林を救う

今こそ、チームの中心として活躍している竹林だが、これまで順風満帆に來たわけではない。高岡第一高校時代には、肘の怪我のため、投げることもできなかった。完全に肘が曲がってしまった状態だった。病院に行ったり、はり治療も行ったが思うような効果は得られなかった。

諦めかけていた高校2年の終わり、知り合いを通じて紹介されたトレーナーがいる。現在、チームのト

レーナーとしてもサポートしてくれている、現ProBody 北陸の代表・青山武士氏だった。当時、青山氏は氷見市内の小学校で指導しており、小学生に混じって練習に参加させてもらったのだ。

地道なリハビリとトレーニングの甲斐もあり、投げられるまで回復。高岡法科大学へ進む。しかし、思うように成績が出ない。当時、オーバースローで投球していた竹林だが、大学2年の秋に転機が訪れる。それは、投球フォームを変えることだった。「最終手段として、投球フォームを変えてみたらどうか」と青山氏に助言を受けた。

この後、あの独特の投球フォームを生み出したのだ。サイドスローともアンダースローともとれるちょうど中間の変則的なフォーム。この決断が竹林を開花させた。北陸大学野球連盟の選抜メンバーに選ばれ、4年の秋季リーグでは防御率0点台という成績を収めたのだ。

富山に入団してからも、指示を仰ぎながらトレーニングに取り組んでいる。今季は個人スポンサーとしても竹林を全面サポートしてくれることになった。

●練習生が今や投手キャプテンに

2014年、サンダーバーズに入団した竹林は練習生からのスタートだった。入団を目指して受けたトラ

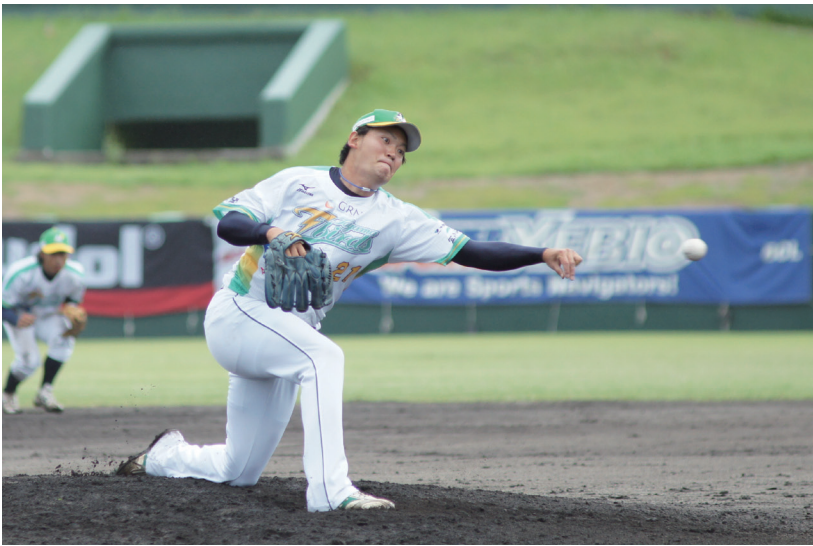
とが大切だと伝えていきたい」

今季、竹林は「今年の登板回数を超えること、無駄な失点をなくし、防御率は1点台。そしてNPBへ」を目標に掲げている。昨年オフのドラフト会議では、2球団から調査書が届いていたが残念ながら指名を受けるまでにはいかなかった。これまで富山からはNPBに進んだ選手たちはすべて県外出身者である。富山出身の選手でNPBへ上がる1人目になりたいと名乗りを上げる。

「継続は力なり」一つのことを続けるのはとても大変なことではあるが、諦めず続けてきたからこそ今の竹林がある。これからも変わらず、ただひたむきに前を向いて進んでいく。185センチの長身の竹林がマウンドに上がれば、どんなピンチも抑えてくれ、さらに大きく見えることだろう。

竹林 和範(たけばやし・かずのり)
 1990年7月15日生まれ。氷見市出身。氷見市朝日丘小、同市南部中学校、高岡第一高、高岡法科大、富山ベースボールクラブを経て2014年から富山GRNサンダーバーズ。背番号は21。185センチ、87キロ。

試合日	対戦相手	開始時間	球場
5月1日(日)	vs信濃	13:00	アルペン
5月4日(水・祝)	vs福島	13:00	砺波
5月5日(木・祝)	vs武蔵	13:00	アルペン
5月15日(日)	vs福井	13:00	高岡西部
5月20日(金)	vs福井	18:15	高岡西部
5月27日(金)	vs石川	18:15	高岡西部
5月28日(土)	vs阪神	14:00	高岡西部
6月5日(日)	vs福井	13:00	県営富山
6月9日(木)	vs福井	18:15	高岡西部
6月19日(日)	vs石川	13:00	県営富山



2015シーズン、中継ぎの柱として活躍した竹林和範(氷見市出身)。1イニングのショートリリーフもあれば、時にはロングリリーフとフル回転だった。なくてはならない存在に成長した竹林、2016シーズンも中心選手としてチームを引っ張る。

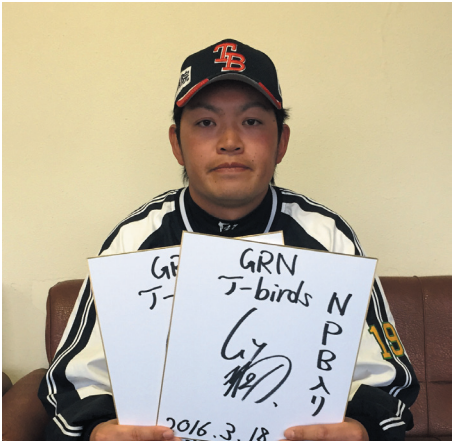


聞き手・文 土田 由香里
 interviewer&text by Yukari Tsuchida

写真 富山GRNサンダーバーズほか
 text&photo by ToyamaGRNThaderbirds

竹林選手のサイン色紙を 2名様にプレゼント！

竹林選手のサイン色紙を抽選で2名様にプレゼントします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthへのご意見・ご感想を記入の上、メールにてご応募ください。個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします



E-mail: nisennen@tspotoyama.com
 締め切りは5月末日。なお、発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

野球をするなら・・・

富山市本郷東部 国道8号線沿い



YAMA
 HIDE
 HOME

お問い合わせはトナミオフィスまで

0763-32-7077

ヤマヒデホーム本社 〒932-0212 富山県南砺市山斐 188 Tel (0763) 82-0428
 トナミオフィス 〒932-1362 富山県砺波市鍋島 129-3 Tel (0763) 32-7077

いつも頑張っているあなたに
 やっぱり天然木の家

www.yamahidehome.co.jp

げた。「じつくりと時間をかけ、できることを増やしていかねばならない」と繰り返している。

高き志は選手のやる気につながっている。「(指示待ちではなく)自分たち自身が判断してアイデアを出し、アクションを起こさなければいけないサッカーだ」と思う。選手が成長できるし、それによってチームがさらに強くなるイメージを持って取り組んでいきたい(DF國吉貴博)。選手たちの意欲を三浦監督も感じ取っており、「このチームの真面目さは武器になる」「理解する力、しようとする姿勢がある」などと語り、彼らを尊重しながら指導している。新戦力の衛藤MF窪田良DF代健司らが指揮官の要求に応え、しっかりとチームの柱になったことも大きい。監督の考え方と戦術が着実に浸透しつつある。

「もともと下手なチームではないと思う。このサッカーは合っているのではないか」。昨年に在籍し、2月の練習試合で対戦した愛媛の内田健太はこう口にした。当時を含め安間貴義監督下の4年半はバスウィークに練習時間の大半を費やしてきた。バスサッカーに順応できる素地はあるのかもしれない。

■自陣から恐れずつなぐ

現時点での主要フォーメーションはキャンプ中から取り組んできた『4-1-1-4-1』。攻撃時は両サイドバックが高く張り出し、大きなサイドチェンジを交えて相手を揺さぶる。サイド突破からのクロスや、小刻みなパス交換から一気にDFラインの裏を狙ってビッグチャンスをつくるのが得点パターン。いずれも安定したボール支配が前提となる。

自陣ゴール前でボールを奪った場合でも、遠くに蹴り出さずに味方パスして攻撃につなげる。今季の象徴的なシーンのひとつだ。そこで奪い返されると再びピンチに陥るが、うまく敵を交わるとチャンスになる。この確実性を上げていかなければならない。

引き分けた開幕2戦は前半のうちに主導権を掌握してチャンスをつくったが、そこで先制点が奪えなかったために苦しんだ。守りを固める相手を崩やし、得点力を高めていく必要がある。三浦監督は「チームとしての全体の完成度が向上すれば、得点を決める力もおのずと上がっていく」と話し、地に足をつけた取り組みで強化を図っていく。



©2008KATALLER



今季のカターレ富山は新任の三浦泰年監督のもと、攻撃的なパスサッカーで勝負する。J2復帰の目標を達成するとともに、果敢にゴールに迫るエキサイティングなプレーで観客の心をつかみたい。野心的な挑戦の行方に注目だ。

攻撃的にいこう!

写真・文 赤壁 逸朗
photo&text Itsurou Akakabe

カターレ富山は4月3日の第3節・G大阪U23戦で今季初勝利を挙げた。三浦泰年監督は「ようやくスタートが切れた。(初勝利を)3節目までお待たせして申し訳ない」と話し、安堵の表情をみせた。開幕からの3試合で、目指している攻撃的なパスサッカーの可能性は十分に示した。引き分けた最初の2試合を含め、いずれの試合もほぼ狙い通りにゲームを進めた。パスを回して主導権を握り、対戦相手を上回る数のチャンスをつくっている。MF衛藤裕は「このサッカーに手ごたえを感じている。あとは勝つことで自信をつけ、さらに高めていきたい」と話す。始動から約3カ月、これまでのチームづくりは順調とみてよいだろう。

■理想の実現へ意欲

就任会見で三浦監督は「パスをつなぎ、チームとして数多くのバターンを生み出して点を取る」と語った。しかし、そんなパスサッカーを実現するには選手個々のテクニックと判断力、運動量、そしてチームワークが高い次元で必要になる。具現化することは容易ではない。それを承知のうえで監督は理想を掲

―J3シーズン展望― 実力接近の短期決戦 U・23が台風の目に

今季のJ3は16チームによる2回戦総当たりで行われる。昨季は13チームの3回戦総当たりだった。これによって各チームの試合数は36から30に減少し、1試合の重みが増した。短期決戦で争われる。

昨季優勝した山口、入れ替え戦に勝った2位の町田がJ2に昇格。JリーグU22選抜の参加はなくなり、代わって6チームが参戦した。J2から降格した大分と栃木、JFLから昇格の鹿児島G大阪とC大阪、F東京の二軍に当たる23歳以下を中心とするU23の3チームだ。大分は長くJ1に在籍し、08年にJリーグカップ(ナビスコ杯)を制したこともある強豪。栃木は09年にカターレと同時にJ2に昇格したライバル。

優勝を争うのは大分、栃木のほか、昨季3、4位の長野、相模原、J2経験のあるカターレや鳥取とみられるが、昨季中位グループの秋田や福島、琉球も地力をつけている。カターレの三浦泰年監督は「(競技レベルや力関係が)昨年と同じリーグとは捉えていない」。レベルアップした各チームが勝点を奪い合う混戦になるかもしれない。1位がJ2に昇格し、2位は入れ替え戦に出場する。

カギを握るのはU23の3チームだ。ビッグクラブに所属する若手の個人能力は高く、加えてオーバーエイジ枠で年齢制限なく3人(GKを含め4人)まで出場可能。G大阪U23はカターレと対戦した第3節に元日本代表の二川孝広が出場し、鮮やかな同点ゴールを決めている。経験の浅い選手が多いとはいえ、各クラブでの指導が行き届いており、チームプレーに対する意識や個々のモチベーションも高い。上位に食い込む可能性は十分にある。

監督に個性的な顔ぶれが加わったのも注目点のひとつ。三浦監督のほか、鳥取の柱谷哲三、鹿児島浅野哲也、横浜FMでJ1を制したYS横浜の樋口靖洋といった経験豊富な指揮官がチームをどう導くか興味深い。

〈8月までのホームゲーム日程〉

節	試合日	開始時間	対戦相手
8	5月8日	13:00	vs長野
10	5月22日	13:00	vs栃木
12	6月12日	13:00	vsC大阪U-23
14	6月26日	17:00	vsYS横浜
16	7月10日	19:30	vs盛岡
18	7月24日	19:30	vs鹿児島
20	8月7日	17:00	vs秋田

※会場はいずれも県総合運動公園陸上競技場

カターレ案内板

小学生に無料観戦パスを発行

富山県内在住の小学生がホームゲームを無料で観戦できる通年パス「ジュニアドリムパス」を今年も発行している。試合会場で申込みを受け付け、即時発行する。

ピッチサイドから観戦いかが

試合をまじかに観戦できる特別席がピッチサイド2カ所に設けられている。正面コーナー近くは「芝かぶりプレミアムシート」。親子を無料招待する企画が不定期で行われている。バックスタンド側中央の「エキサイティングシート」は一般販売されている。
〈問合せ〉カターレ富山 電話076-461-5200

Internet / Design since 1996

インターネット&デザイン シーズプランニング

930-0052 富山市五番町5-6 河上ビル4F
TEL 076-425-5195 FAX 076-425-5183



始まりと終わりを知る男

呉屋 貴教

ごやたかのり

呉屋貴教 ごやたかのり
沖縄県宜野湾市出身。ポジションはガード。身長190cm、体重83kg。
2006年に富山グラウジーズにドラフト 1巡目で指名され、プロキャリアをスタート その後、移籍を繰り返し、2014-15 シーズンNBLの和歌山トライアンズに所属。シーズン途中で引退。2015年7月現役復帰。8シーズンぶりにグラウジーズに加入した

TURKISH AIRLINES
bj-league

TOYAMA
G GROUSES

このチームのためなら
ブースターのためなら
壊れたって構わない
倒れるまで走りたい。

写真・文 金森 正晃
photo&text by Masaaki Kanamori

10年目のスタイル

呉屋がプロでのキャリアをスタートさせた頃のスタイルはスピードとパワーで突っ込んでいくタイプだった。その迫力に魅了されたブースターもたくさんいると思う。
呉屋は富山を離れ、数々の経験を積み、大きな怪我をした。選手生命を脅かす膝の故障で、持ち味であるスピードとパワーは半減した。呉屋は冷静にそのスタイルを変えた。緩急あるドリブル、フェイク、アウトサイドシュート。持ち味が消されたと思っていたら、駆け引きのできる大人のスタイルに変わっていた。

外から見た富山

2007-08 シーズン金銭トレードで大阪エヴェッサに移籍。キャリアをスタートさせた富山は移籍してからもずっと気になる存在であった。ここ数年の富山の印象は「対一のチーム」というイメージが強い。チームプレイというより個人技のチーム。だからこそほころびにつけこまれやすい。
みんなを生かすプレイをしなければ、いずれ分析されてしまう。例えば、一対一からのオフenseで逆サイドの味方を絞らせない動きができればたら展開が増えて劇的に状況が変わるだろう。チームを離れたからこそわかる。

引退撤回

大好きなバスケットが嫌になるシーズンもあった。チームが消滅したり、借金を背負わされたり、純粹にバスケットと向き合えなくなっていたこともあった。しかし、引退してばかり胸に穴があいた。

富山グラウジーズの黒田祐社長や星野博之ゼネラルマネージャーからアプローチを受けて戻ろうと決

心した。必要としてくれているこのチームに。愛してくれる富山の熱いブースターに。プレイオフ 優勝を。最高の名誉を届けたい。

ディフェンスから 流れを掴む。

プレイオフは特別なもの。このチームで頂点に立ちたい。足首の怪我也良くなっているし、チームのディフェンスも上がってきている。課題を挙げるならビックアンドロールのスクリーンの対応が良くない時間に点数が離れているので、そこら辺のコミニケーションをもっと深めていく必要がある。

呉屋は、トーナメントで勝ち上がるにはディフェンスと語る。しっかりボールを抑えて富山のオフenseに繋げればプレイオフ 優勝はおのずと見えてくる

才能なんて必要ない。

「バスケットじゃ飯が食えんぞ」
呉屋が学生の頃は、そんな言葉が頭の中を駆け巡っていた。日本のバスケットボールの環境はこの10年で劇的に変わり、来季の統合リーグ「Bリーグ」の発足によりさらに夢を見られるステージに変わっていく。

変革の時はチャンスだ。呉屋もかつてbjリーグ誕生のシーズンにプロになった。一年一年。あつという間に時間は過ぎていく。才能なんていらない。シュート、ドリブル、ハンドリングと真面目に向き合うこと。バスケットは一人でも練習できる。技を磨いてチームのために何ができるか考えることが大切である。あとは、バスケットが好きであればそれでいい。僕もそうだったから。

bj リーグ プレイオフ日程



※詳細な情報は球団ホームページをご覧ください。

試合	日	場所
ファーストラウンド	4月30日(土)、5月1日(日)	富山市総合体育館
カンファレンス セミファイナル ※ファーストラウンドを勝ち抜いた際に開催	5月7日(土)、8日(日)	富山市総合体育館
ファイナルズ ※カンファレンスセミファイナルを勝ち抜いた際に開催	5月14日(土)15日(日)	有明コロシアム

弾けるアイディア 固まる信頼



NISSEI TECHNICA
株式会社 ニッセイテクニカ

<http://www.nissei-tc.com/>

スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

文・写真 中沖 紘一
text and photo by Koichi Nakaoki



が、引退後の人生を模索する中で、学生時代に自ら故障に苦しんだ経験を生かしてトレーニングの道を選んだ。

子どもたちに与えるプログラムは、「徹底的に怪我をしないためのもの」と語る宮原さん。柔軟性を高めて体幹を強化し、試合などオーバーワークで弱った身体のコンディショニングを引き上げてやるのが最大の目的だという。当然、パフォーマンスも同時に向上する。ただし、宮原さんは「週に1回、専門家に教えてもらっているからといって満足してはいけない」と語り、ここで得た知識をいかに自分のものにしていくのが大切だと強調する。

特にシーズン中のチーム練習では、個々のメニューに取り組むことは難しい。言うまでもなく、練習の前後か家で行う自主トレが成長への重要なウエイトを占める。宮原さんは「天才である必要はない。自分の身体と向き合って努力する習慣を身につけてほしい」と選手たちと呼びかける。

取材の終わりに、その言葉の意味をもう少し掘り下げて聞いてみると、「スポーツの記事に相應しいかわかりませんが」と少し照れた様子で、こう語ってくれた。

「プロ野球選手はもちろん、社会人や父親になった時に負けない人間になって欲しいんです。何事においても知識があれば、努力の方向性が決まります。常に前向きに生きるためにも、知識を取り入れて生かす習慣を身につけてもらいたいと思っています」。

「レジャー・オブ・スポーツ」の各種トレーニング教室についての問い合わせは電話にて。6月には富山市上大久保に新たなスポーツジムもオープンする予定。

選手の将来と向き合う 濃密なトレーニング

Pleasure of Sports

TEL 070-4036-5009

さまざまな身体の動きを用いてトレーニングに励む少年たち。床に座って行うお尻歩きや股関節の開きと蹴りを意識したほく前進。同じく肩甲骨周りの柔軟性と強度を上げる各種運動。その後もストレッチと体幹を組み合わせたトレーニングがひたすら続く。

取材したのは、フィジカルトレーナーとして県内で活躍する宮原聖欣さん(33)が代表を務める「レジャー・オブ・スポーツ」の野球専門トレーニングクラス。この日、小学生～中学生対象のクラスで行われていたトレーニングは、正直、地味で辛いものばかりだ。しかし宮原さんは、「二つの効果と身体の機能を噛み砕いて説明するので、子どもたちも真剣に耳を傾ける。『お尻は二つあることを意識して』『軸を安定させた上で、体を運動させる』『太ももの前をどうして柔らかくするか』という、膝を痛めないために。守備の構えも良くなるから」。

富山のアイススポーツ 活性化へ

アイス スポーツ



ジュニアから社会人まで、一貫した指導で富山独自のアイスホッケースタイルの構築を目指す富山アイススポーツクラブが発足した。これまで別々に活動していた富山イーグルスJ(小学生)、富山イーグルス(中学生)、富山イーグルス(高校生)、富山エルクス(女子)、チックマクネッツ(社会人)、ペンギンズ(社会人)を一本化し、スケートリンクの確保や強化費の配分など効率的なクラブ運営を目指す。

現在クラブ員は約70人。組織のスケールメリットをいかして他の競技団体との交流も積極的に展開する。宇野澤副代表は、アイスホッケーだけにこだわらず、視野を広く持つことで、多くのことを体験し感じられるクラブ、多くの人に育てられ、多くの人を育てられるクラブにしたいと、熱く意気込んでいる。

TEL 076-411-5667 (三海規夫さんまで)

ホッケー 小矢部REDOX 「新戦力加入で1部昇格へ」

男子ホッケーの日本リーグは、競争意識を高めてレベルアップを図ろうと、今シーズンから1部(7チーム)、2部(7チーム)制となり、昨シーズンリーグ8位の小矢部REDOXは、2部からのスタートとなった。チームには、日本代表CAP69のF.B.畠山学(28)が名古屋フラーテルから移籍、ユース代表経験のあるMF林琢馬(22)、GK石塚翼(18)、富山大学に通うF.B.沼田涼平(19)が新たに加入し、選手層が厚くなった。リーグは4月11日まで12試合、2部で1位なら1部自動昇格、2、3位は入れ替え戦へ。沼田秀樹監督は、目標は1部昇格と意気込む。

ホッケー



富山で活躍する 女性のメンタルトレーナー

野末さん

ワールドカップ・ラグビー日本代表の活躍の裏には、女性のメンタルトレーナーの存在があったことがクロージングアップされている。子育てをしながら、アスリートをサポートする姿には、大きな注目が集まった。富山県内にも女性のメンタルトレーナーがいることをご存じだろうか？

野末貴代さんは富山市出身の38歳。サッカーをする長男が悩みながら成長する姿を見て、メンタルトレーナーの勉強を始めた。2012年から東京のアイディアヒューマンサポートサービスでメンタルトレーニングや心理学を学び、13年に認定資格を取得。日本メンタルトレーナー協会に所属し、全国心理行連合会認定心理カウンセラーなどの資格も持っている。

現在は富山県内の高校の女子バレーボール部、男子バスケットボール部や陸上競技のクラブチーム、空手やテニスなど個人競技の選手に指導に当たっている。緊張して試合で本来の力を発揮できない選手に対しては、イメージトレーニングを通じて自分で緊張をほぐすことを指

井城さん、バレーの教訓を一冊に 『常に今に全力を尽くせ』自費出版

バレーボールの競技経験者で、請われれば指導にもあたる井城斎加さん(富山市在住)が2016年3月、選手時代に得た教訓などをまとめた著書『常に今に全力を尽くせ』(税込1500円)を自費出版した。

井城さんは長崎県出身で、九州文化学園高・長崎時代、全国高校総体のバレーボール競技で決勝に進んだ。結婚を機に富山市内へ移り住み、2児の母として、高校の保健体育講師として、忙しい日々を送っている。「自分がバレーで学んだことを知ってほしい」と出版を思い立ち執筆。選手時代の写真や練習ノートを織り交ぜて一冊にまとめた。

「Truth」ではホームページ上で書籍の一部を抜粋し、執筆の苦労など合わせて紹介している。編集を担当したのはNPO法人Tスポとやまのメンバーである小林永。問い合わせ、著書の購入は井城さんまで。

メールアドレス:takashima51@gmail.com
本の購入方法など: <http://mai1999.buysnop.jp/>



フィギュアの魅力いっぱい 砺波市出身・老松選手ら日本男子の歴史たどる

フィギュアスケート日本男子の魅力をとらえた「フィギュア男子 ビジューアルブック」(二見書房、税別1600円)がこのほど発刊された。スポーツ写真家の岸本勉さんと中村博之さんが撮影した羽生結弦選手らの写真などで構成されている。練習する姿や、厳しい表情を追うなど、アスリートとしての二面をとらえた写真集となっている。企画・編集を担当したのは富山市出身の千田麻利子さん。

富山ゆかりの部分としては、陽進堂所属の村上大介選手の写真を収録。「フィギュア日本男子100年の歩み」という読み物では、1932年のレック・ブランド冬季五輪に日本選手として初めて老松一吉選手(砺波市出身)らが出場したことなどを紹介している。執筆はNPO法人Tスポとやまのメンバーである若林朋子など。



県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

Truth

Find us on Facebook

Tスポとやま Truth

<https://www.facebook.com/tpo.truth>

Tスポとやま

『Truth』夏号掲載ニュースの締め切りは2016年6月末
.....
原稿・写真・画像は左記メールアドレスまで、よろしく願います。
なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます。ゲラチェックはありません。
・Tスポとやまメール
nisenhen@tpotoyama.com

TEL / 090-8969-7985
メール / ky202529nz@yahoo.co.jp

NPO法人 *Tスポとやま* 2016年度 賛助会員募集

NPO法人「Tスポとやま」(2015年4月認証)は、スポーツの力で富山を元気にしたいとの夢を実現するべく、県内のスポーツとそれに関わるみなさんを応援する活動を展開しています。

富山初のスポーツマガジン「Truth(トゥルース:真実の意)」を春・夏・秋・冬と年4回発行、ホームページでも情報を発信しております。

2016年はリオ五輪・パラリンピック、そして引き続き、2020年東京五輪・パラリンピックに向けて、アスリートたちの挑戦を広く県民の皆様にお伝えして参りますので、よろしくご支援・ご指導をお願い申し上げます。

2015年より賛助会員としてご支援くださっている皆様には深く感謝し、引き続きご助力を賜りますよう切にお願いする次第です。また、新たにご支援してくださる方を随時募集しております。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

Tスポとやま代表 松井 克仁

【賛助会員】

企業・団体：[年会費] ¥10,000(税込) ／ 1口

個人：[年会費] ¥3,000(税込) ／ 1口

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2017年3月末までとします。

【入会方法】

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。

◇振込先 北陸銀行 本店営業部 普通6071056 特定非営利活動法人 Tスポとやま

富山銀行 本店営業部 普通3012357 特定非営利活動法人 Tスポとやま

※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。ホームページからも申し込みいただけます。

◇FAX:0766-55-0009 ◇E-mail:nisennen@tspotoyama.com ◇問合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

《*Tスポとやま* 賛助会員 申込書》

ご芳名(または企業団体名)	ふりがな		
ご住所(「Truth」のお届け先をご記入ください)	〒		
電話番号	()		
メールアドレス	@		
「Truth」巻末の社名・氏名掲載希望の有無	掲載を希望する (右欄に掲載名をご記入ください)	掲載名	希望しない
口数・金額	(法人・個人)いずれかに丸をお付けください		金額
	口		円
お支払方法(いずれかに丸をお付け下さい)	現金 ・ 銀行振込		

※申込書をFAXなどで送付ください

<個人情報の取り扱いについて>皆様からお預かりした個人情報については「Tスポとやま」の活動関係事務のみに使用し、それ以外の目的に使用したり、第三者に開示したりすることはございません。

Tスポとやま 賛助会員の皆様(2016年4月15日現在)

【法人会員】

千山道場、クラブJOY、学校法人 荒井学園、北陸機材、JUMP MARUYAMA、小笠原製作所、日伸精機、澤川鍛造工業、春日産商、東亜電工、北陸パロン美装、野中精機製作所、山崎機工、ユニゾーン、シマダ商事、高岡金網、富山技販、KANAYA、医療法人財団五省会西能病院、津根精機、常願寺川公園スポーツクラブ、バイエルンスポーツ、ヤマヒデホーム、まちづくりとやま、内山精工、岡崎工機、藤田内科クリニック

(順不同)

【個人会員】

森口寿志高(酒彩さんぽ)、鈴木八十善(ステーキすず屋)、黒田明、上野勉、横嶋好子、谷井康彦、竹田克史、小林浩、北井誠、井城斎加、川渕映子(アジア子どもの夢)、大家芳夫、澤川幸七、澤川美幸、澤川幸利、澤川泰子、成瀬昌朗、田村勉、澤田利浩、有澤渉、中田憲昭、長谷基、大鋸谷孝志、石須康友、田形衛、大辻保、成田光雄、石田智子、牧内直哉、東軒一虎、清見昇、登坂修、南雲公子

(敬称略、順不同)

NPO法人Tスポとやまは賛助会員と、配布にご協力いただける企業やお店等を募集しています。

【編集後記】

・富山のハンドボールを取材して20年以上、チームの立ち上げの現場を目の当たりにするのは2回目になる。これから生まれる2020年にむけたドラマをTruthでしっかりと伝えていきたい(松井)

・国体や実業団バドミントン、Jリーグなどの取材で何度も熊本を訪ねました。試合会場の温かな雰囲気や同業者の熱心な仕事ぶりからスポーツを愛する地域性を感じていました。スポーツを楽しめる日常が少しでも早く戻りますように((赤壁)

・この度、映画監督をやることになりました。高岡市を舞台にした映画「デンサン」。「デンサン」とは伝統産業のことです。高岡には400年続く鋳物、漆器の伝統産業があります。一度「伝統」というものを考えた時、単に技術の伝承ということだけじゃないことに気づきました。ストーリーでその答えを探します(金森)

・今年も懲りずに富山マラソンにエントリーする予定です。今年の調整こそは…と思いつつ、相変わらず座るか寝るかの日々を送っております。(小林)

・NPBより少し遅れましたが、富山でも野球のシーズン到来です。富山GRNサンダーバース竹林和範投手の野球に取り組む姿勢は、怪我を克服してきたからこそその喜びに溢れていました(土田)

・最近色んな場面で「Tスポとやま」の活動についてたずねられる機会が増えました。一緒に何か企画しましょう!との声にいつも胸を躍らせています(中沖)

・田畑真紀選手を初めて取材してから12年。私の方がちょっぴり年長ですが、ほぼ同世代。奮闘に何度、勇気をもらったことが。コメントは貴重な教訓ばかりでした。新天地でも健闘されることを祈っております!(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

〒932-0817 小矢部市小神204-3 代表:松井克仁

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

HP : http://tspotoyama.com/

Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

顧問:田中一郎

STAFF:赤壁逸朗/金森正晃/小林永/坂野上満/谷尚人/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁/若林朋子

DESIGN:TIME PLANNING JAPAN 株式会社

Truth 夏号は2016年7月下旬発行予定